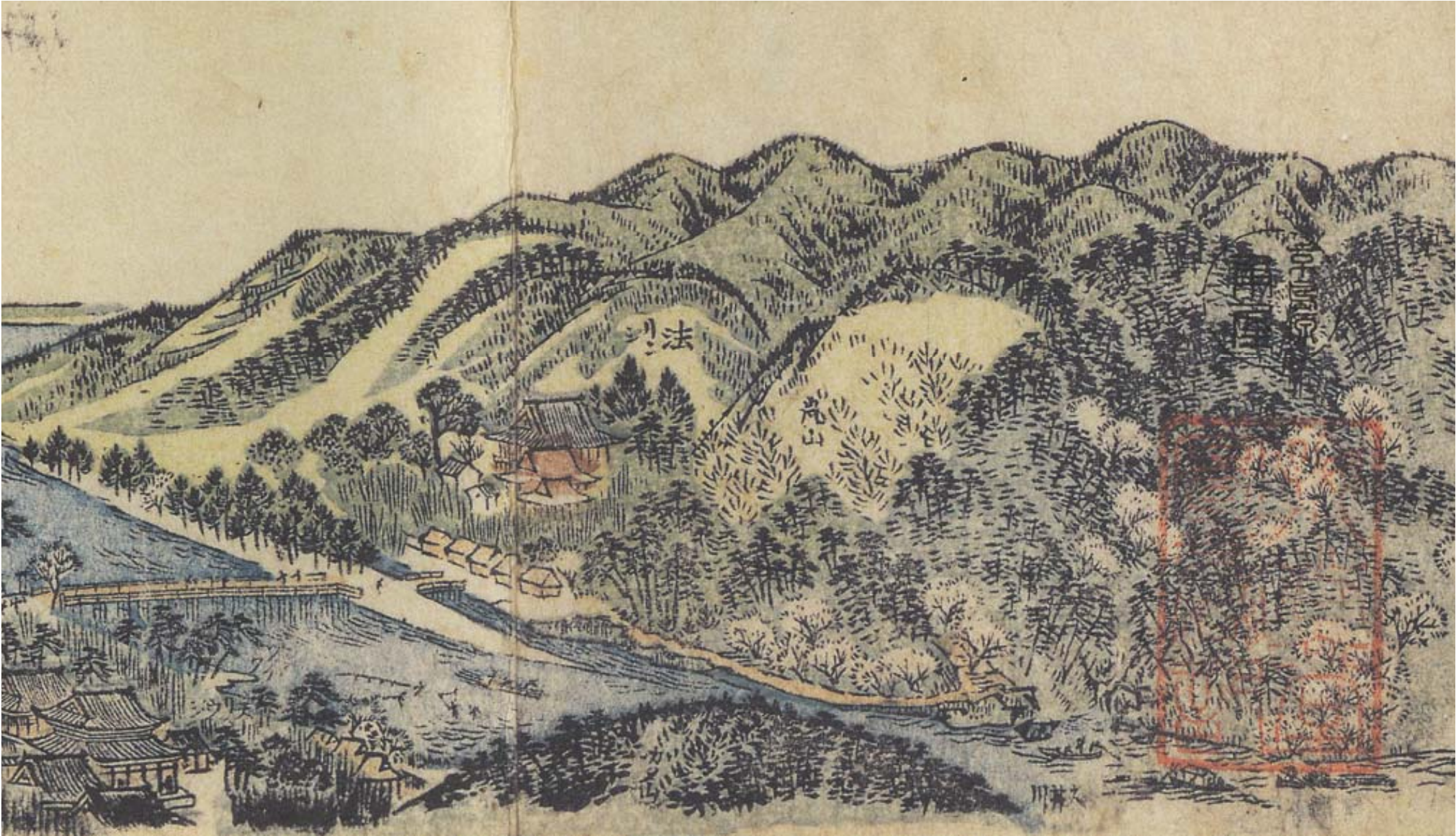


嵐山国有林の再生に向けた市民参加による森林調査事業



花洛一覽図 嵐山付近 1808

調査内容

- **嵐山の景観保全に関する意識調査**：嵐山を訪問する観光客を対象として、アンケートにより、嵐山における景観変化に関する意識調査を実施する。
- **シカの生息状況に関する現地調査**：林内での自動写真撮影や糞塊調査、追い上げ調査などにより、嵐山国有林に生息するシカの生息頭数を調査する。
- **山地保全対策に関する現地調査**：林内での伐採箇所において、下層植生の有無による山地保全効果に関する調査を実施する。

事業実施の主なスケジュール

- 平成22年10月 第1回研究委員会(調査内容の検討)
- 平成22年11月 第1回市民参加調査(山地保全対策)平成22年12月
第2回研究委員会(調査内容の検討)
- 平成23年 1月 第2回市民参加調査(シカ対策)平成23年 2月 第3
回研究委員会(調査内容の検討)
- 平成23年 3月 第3回市民参加調査(嵐山の全体像)
- 平成23年 4月 第4回市民参加調査(景観保全)
アンケート調査(観光客)
- 平成23年 5月 第4回研究委員会(調査内容の検討)平成23年 6月
第5回研究委員会(シンポジウム内容検討)平成23年 7月 アンケート
調査(関係者)
- 平成23年 8月 シンポジウムの開催 報告書のとりまとめ



平成22年11月 第1回市民参加調査(山地保全対策)



嵐山国有林保安林改良事業（平成21年度）

面積：0.05ヘクタール

事業内容：林床受光伐（伐開処理）0.05ha
丸太筋工（間伐材）52m

植栽工（植栽樹種）

カスミザクラ10本

イロハモミジ15本（3本植栽 5カ所）

ケヤキ 5本

獣害防護柵

119m

近年、嵐山国有林では、常緑広葉樹の成長やシカの被害などの影響により、次代の景観を担うサクラやモミジなどの落葉広葉樹が生育しにくい状況にあります。

また、下層植生が少ないことから、表土の流出や浸食の危険性が増しており、景観面や環境面での著しい劣化が懸念されています。

このため、京都大阪森林管理事務所では、平成21年度に「嵐山国有林保安林改良事業」として、常緑広葉樹の伐開により光環境を改善するとともに、丸太筋工により表土の流出・浸食防止を図った上で、サクラやモミジなどの落葉広葉樹を植栽しました。

また、植栽した苗木を獣害から保護するため、事業実施箇所を防護柵で囲いました。

京都大阪森林管理事務所では、今後、嵐山国有林において同様の事業を継続して実施していく予定です。



【事業着手前の状況（H21.12.22撮影）】



【事業完了直後の状況（H22.3.31撮影）】



連絡先 林野庁近畿中国森林管理局
京都大阪森林管理事務所
TEL: 075-414-9822





平成23年1月 第2回市民参加調査(シカ対策)







平成23年3月 第3回市民参加調査(嵐山全体像)



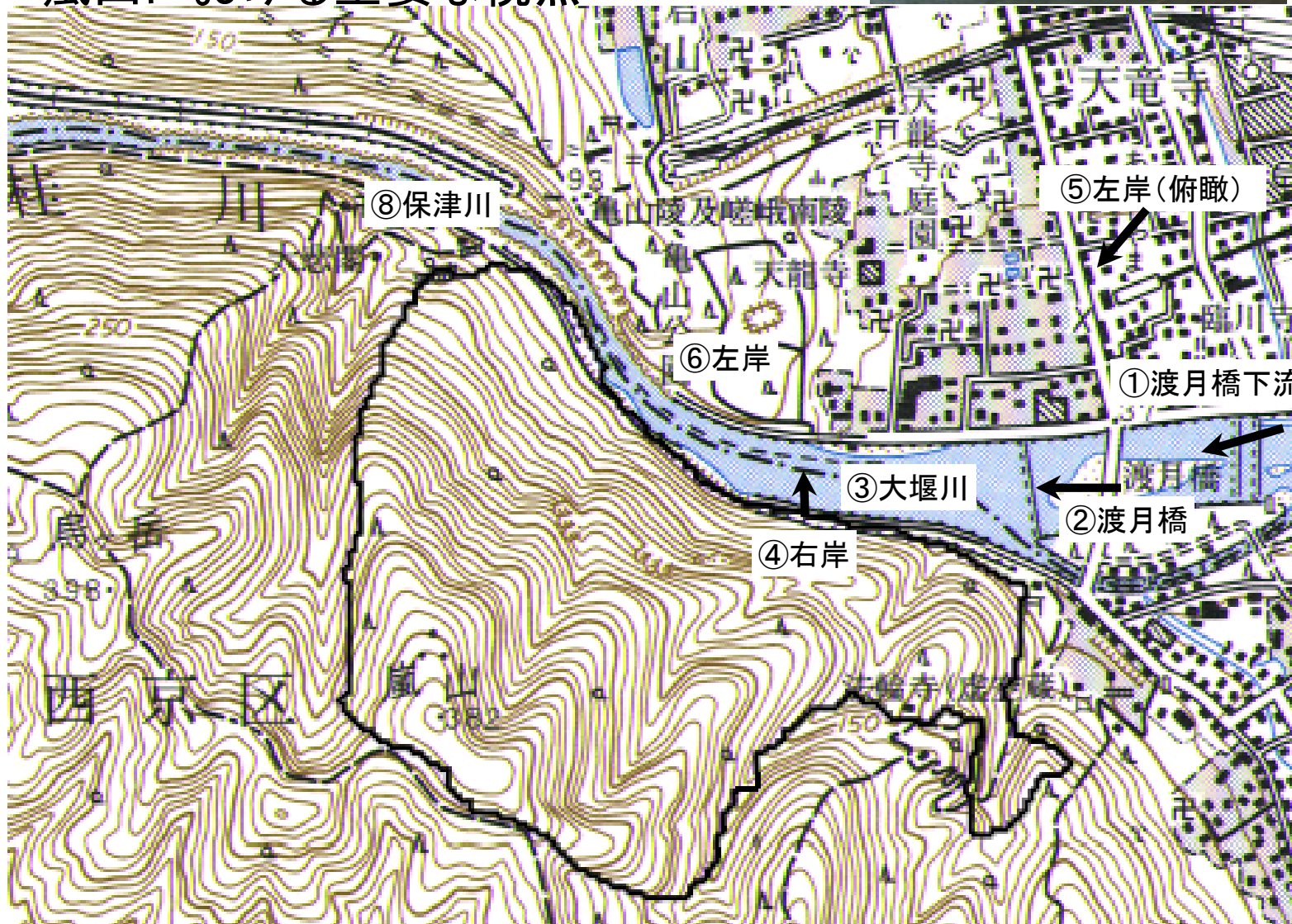


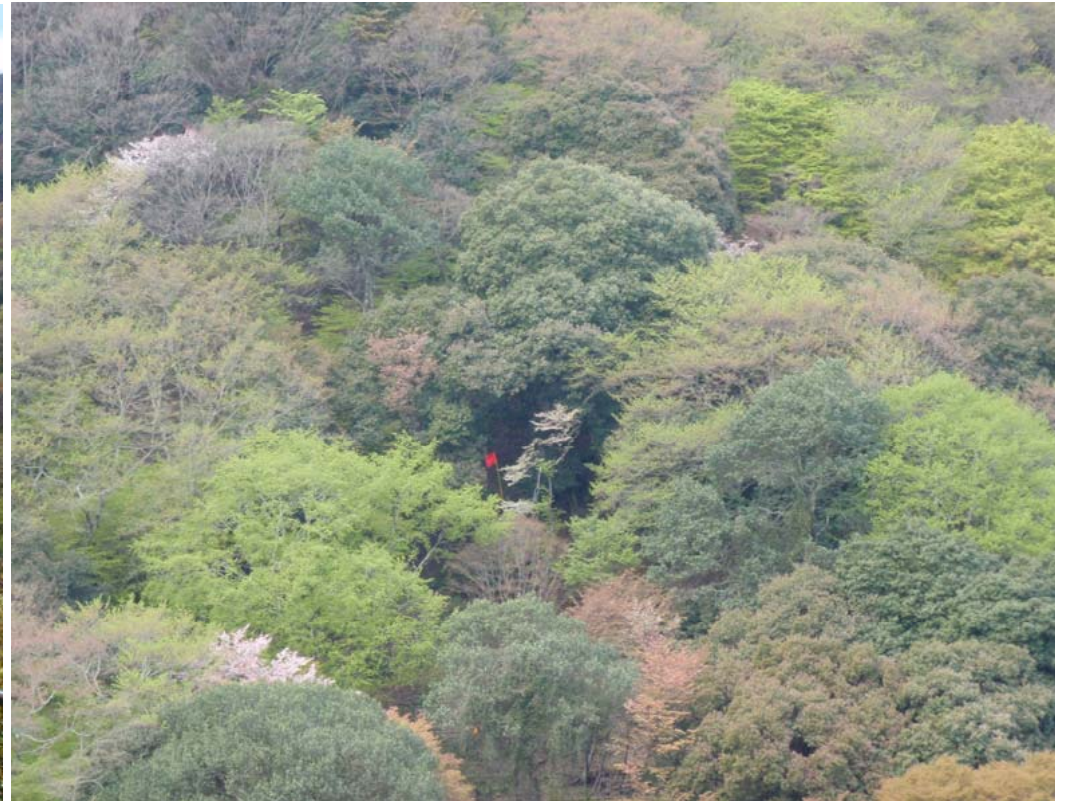
平成23年4月 第4回市民参加調査(景観)





嵐山における主要な視点





参加者の感想

- 改めて、足で運んで歩いてみるというのはやっぱり大事な事ですね。いろんな話も聞けて良かったと思います。わからんことも色々教えてもらえましたんで。もっと松が欲しいです。ぼく子供の時に遊んでてね、この辺ずーっと松がよおけあったんですよ。上あがるとね、山の上行ったらそれが楽しみでよお見える、見晴らしが良くて、そういう意味ではもしこの所上あがってよお見えるともっといいと思うんですけども。
- 小さい頃から嵐山で大きくなったつもりやったんですけども、全く何も山のことなど見向きもしなかったというのがわかっていなかった事を、今回この事業で教えていただきました。大変喜ばしく思っております。山に手を入れなくちゃいけないという事を、一緒に勉強させてもらって分かったんですけども、なかなかそれがどの段階でやって良いのかというのは、難しいとこかなというのを思いますけども、出来れば昔の絵図のように、松とか紅葉、桜の多い嵐山にしていいただいたら、もっと誇れるかなと僕個人としては思いました。

参加者の感想

- 改これからもっと手を入れて、次世代、今じゃなくこの次の世代、もっともっと未来に向けて、色々手を入れていかなければいけない事の始まりであって、本当に繋げていけるような仕事を、出来れば良いかなというふうに感じましたし、もっと明るい嵐山、もっともっと自分の子供達に見せてあげたいなというのを色々と思いましたし、そうなるよう、努力していきたいなと思います。
- 山とか川とか自然のことにに関しては、すぐ結果が出るような事ではないので、こういうモニタリング、或はこういう研究会があった、それで終わってしまうと、やっぱり人間って終わってしまうと行動に移す事ができなくなるので、来年から、今年からもそうなんやけれども、少しずつでもいいですし、ずっとこれを継続してやっていく事が大事やと思います。これで終わるっていうのはあまりにも情けない。それと、皆言うてはるように、自分とこの住んでる山とか川とかが汚かって、誰かがやってくれるわって思っているうちは、僕ら商売人やさかいにお客さんを迎えることはできません。自分らがやっぱり自分らの住んでいる所とか、生業にしている所を愛することによってお客さんを迎えられると思います。そうするには我々は何をしなければいけないかということを考えながら、今年からも頑張っていきますのでよろしくお願いします。

絵図や写真にみられた嵐山の景観

- ◆ 森林と水辺の組み合わせ：山（森林）と滝や淵、渓谷など多様な水辺の組み合わせ
- ◆ 嵐山を眺めるための視点が広く分布（主要な視点は時代により変遷）
- ◆ 俯瞰する嵐山、川や道により広域的につながる嵐山
- ◆ 切り取った特徴的な景観としての評価（川沿いのマツの大木とサクラ、滝と紅葉など）
- ◆ アカマツが常にどこかに存在
- ◆ サクラの楽しみ方：林内、川沿い、道沿い、河原、船など多様
- ◆ 人との関わり：生業や人の活動が景観における重要な要素、観光の対象となる





嵐峽春の賑わい



The Boating on Hozu-River, Kyoto.

(1) 遊舟川津保 都京



老屋崎川津下川津保 鴨名山嵐都京

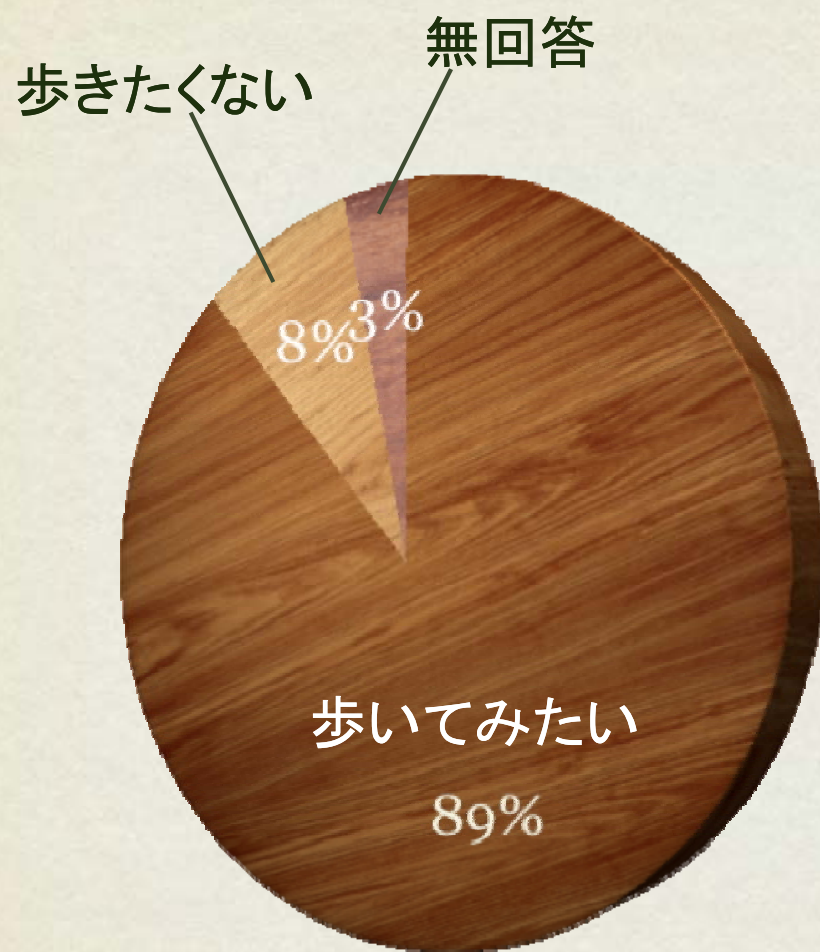
アンケートの概要

観光客

- 観光関係の店舗、旅館等で配布
- 248件回収
- 各年代、性別まんべんなく集まる、近畿圏が約半数
- 2～5名のグループでの来訪者が約7割(団体客は少ない)
- はじめて訪れた人は1/4程度、3回以上来訪経験のあるリピーターが半数以上を占める
- 地元観光関連団体を通して配布
- 38件回収
- 主に男性、50代が多
- 飲食業、土産物店からの回答が2/3ほど
- 1/4程度は地元団体で何らかの役員経験あり
- モニタリング参加経験者は半数弱

地元関係者

嵐山の林内を歩いてみたいですか



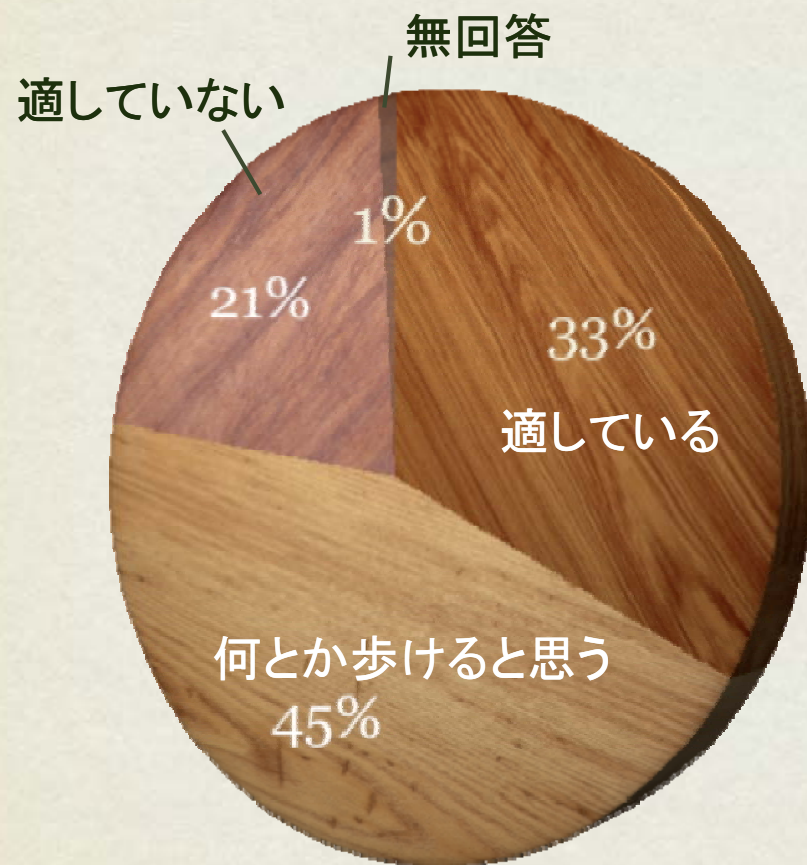
回答者数248人

嵐山の林内で期待するもの

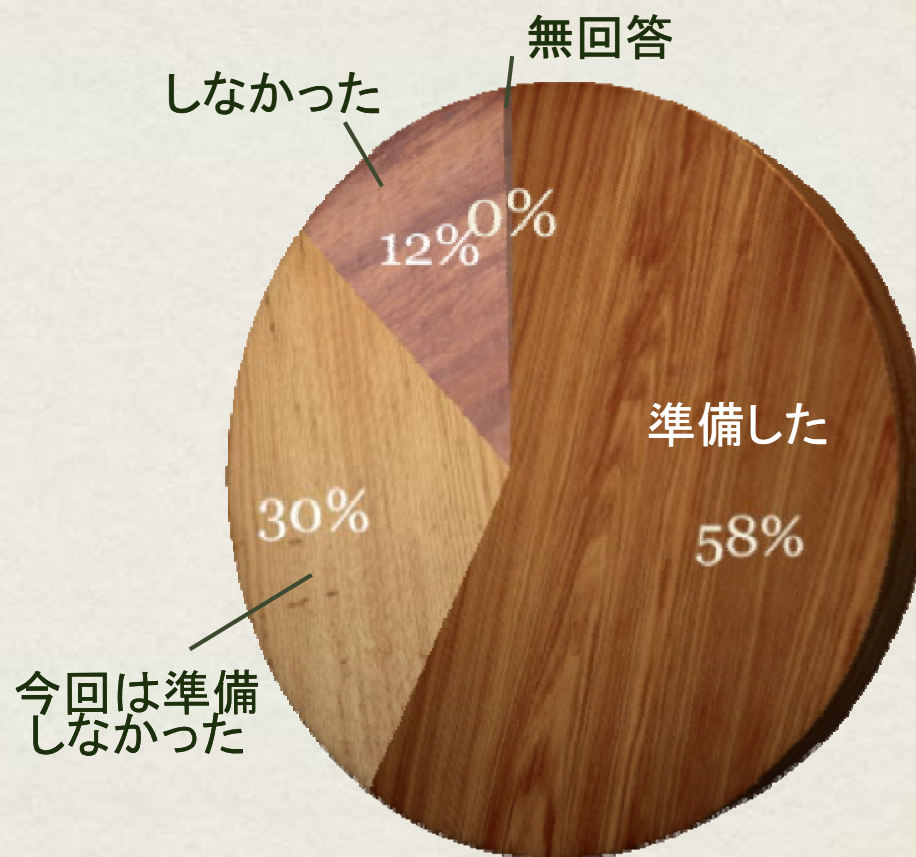
四季の花や紅葉を楽しむ	194人	88%
山からの眺望を楽しむ	115	52
野鳥や自然を観察する	87	40
静かに休息する	55	25
適度な運動をする	49	22
嵐山の歴史にふれる	47	21

林内を歩くための準備

今回の旅行中の靴や服装は、
林内を歩くのに適していますか

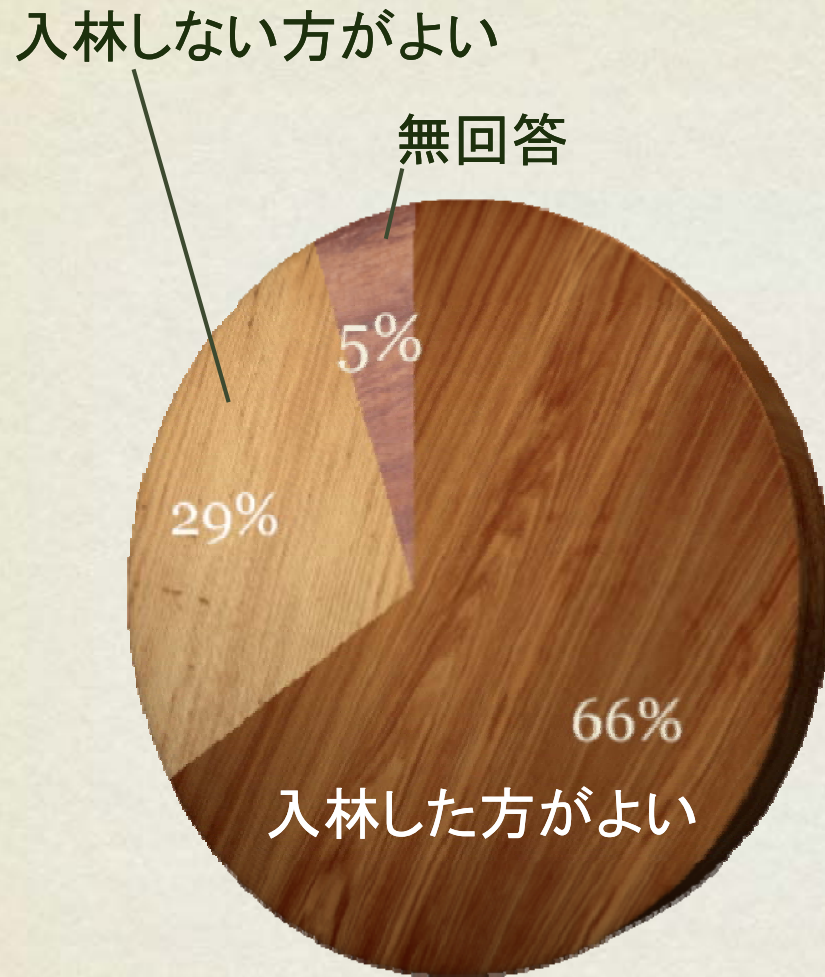


出発前に林内を歩けると知っていたら、その
ための靴や服装を準備しましたか



回答者数220人

観光客の入林に対する考え方



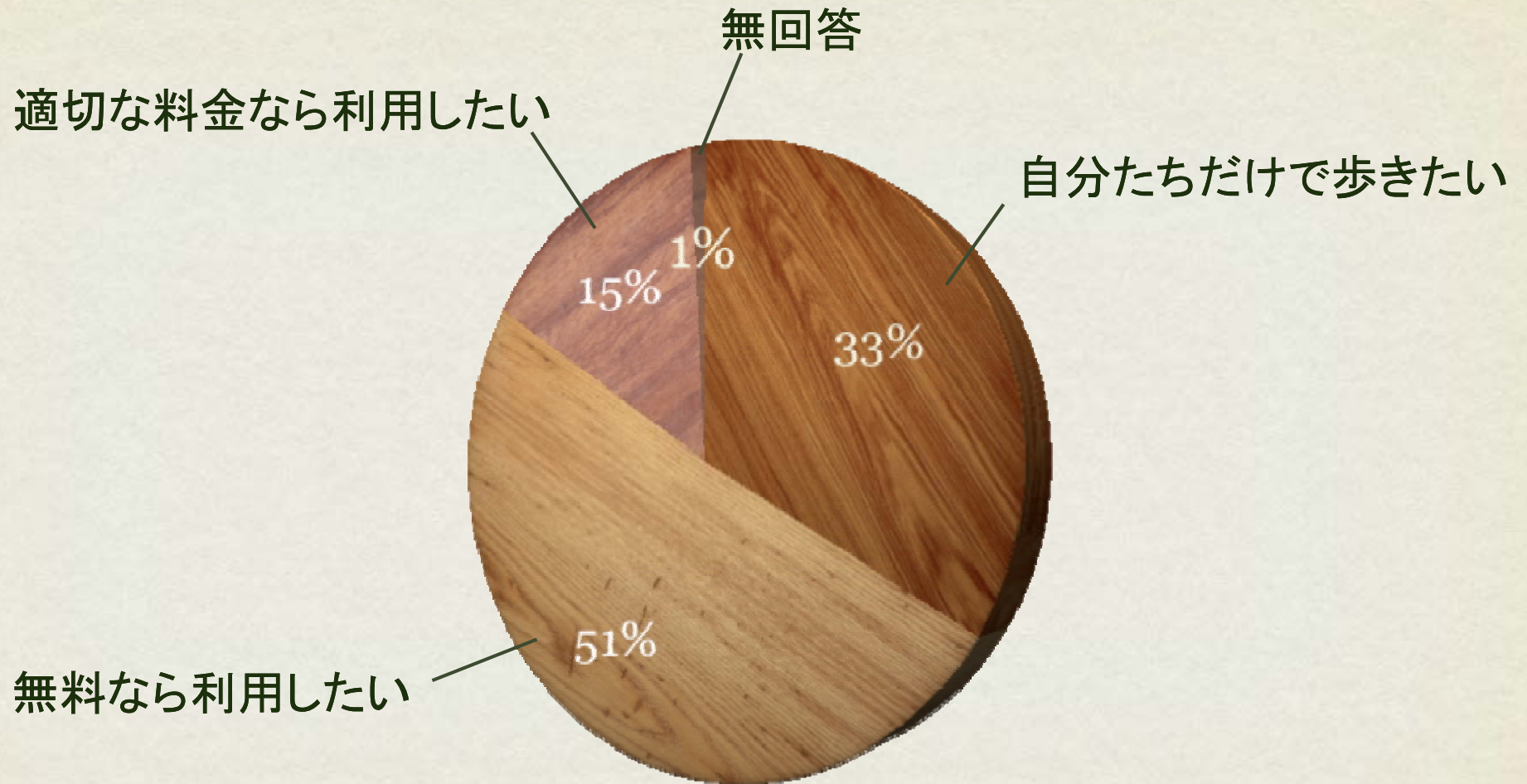
回答者数38人

入林のための条件(25人中)

歩道の整備	21人	84%
案内板の整備	18	72
入林できる範囲の制限	14	56
観光客への情報の周知	13	52
治山・防災対策の強化	9	36
ベンチ・休憩施設等の整備	9	36
入林時期の制限	7	28
ガイドによる引率	5	20
その他	2	8

森林の中をガイドする仕組みがあれば利用 しますか

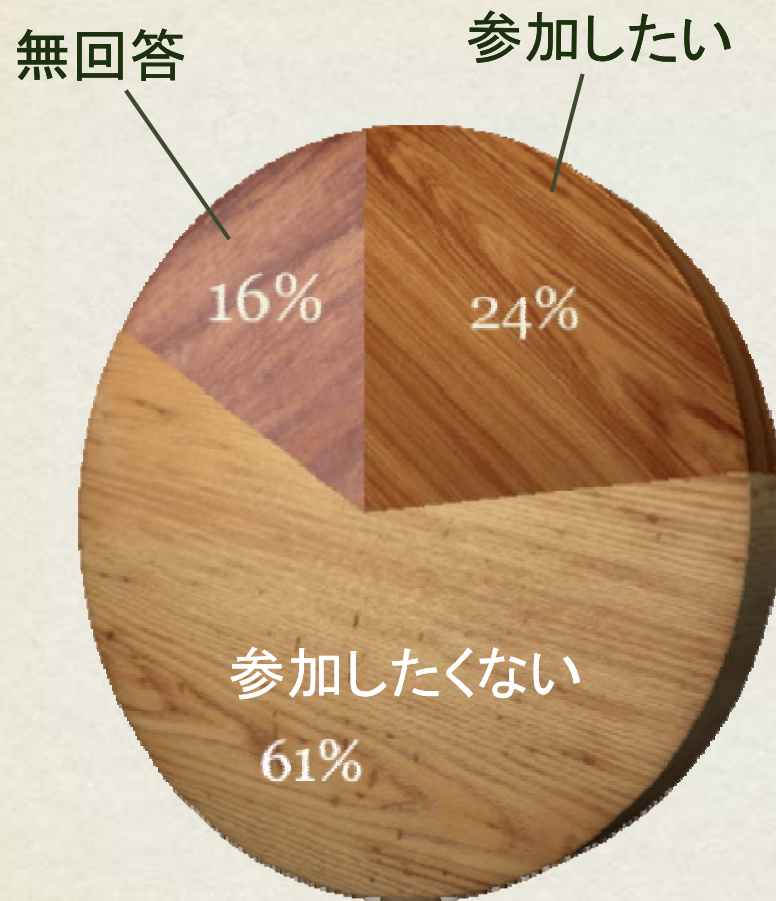
観光客



回答者数220人

地元でガイドの仕組みがあれば参加しますか

地元関係者



回答者数38人

ガイドしたいポイント(9人中)

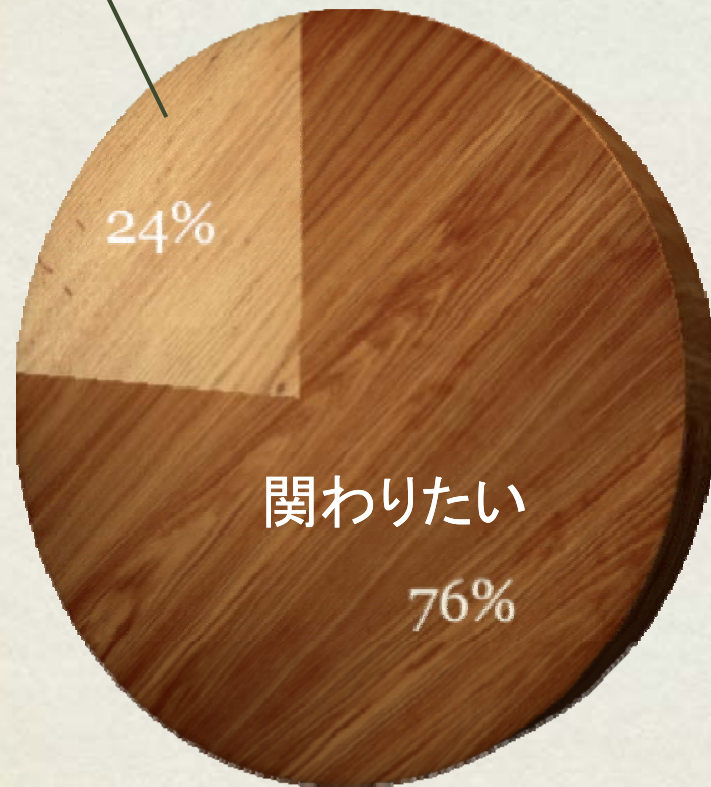
嵐山国有林のなか	5人	56%
対岸から見る嵐山	4	44
寺社や史跡	2	22
大堰川	1	11
街並み	0	0

ガイドの報酬形態(9人中)

無償 6人 有償 1人
無回答 2人

嵐山の調査に関わりたいですか

関わりたくない



回答者数38人

関わりたい調査内容(29人中)

景観や展望に関する調査	22人	75.9%
川や水系の状況に関する調査	16	55.2
ナラ枯れの状況に関する調査	14	48.3
シカの生息状況と影響に関する調査	11	37.9
植栽した樹木の成長に関する調査	11	37.9
防災事業の効果に関する調査	9	31
その他	3	10.3

まとめ

- 博物館の「バックヤードツアー」型を想定すると、
- 単純計算で、潜在的に入林希望があり、かつ入林可能な観光客の母数は「30%」(団体除く)
- それに対して受け入れ側は、まだ十分な対応が可能とは言いきれない状況
- 様々な条件整備に加え、参加型調査の継続と、参加者の幅を広げることには展望があるのでは